

令和7年度 中学生チャレンジテスト（1・2年生）の概要及び結果

高槻市教育委員会 令和8年4月

実施の目的

- 大阪府教育委員会、市町村教育委員会及び学校が、生徒の学力の状況をつかむことで、教育の成果と課題を明らかにし、今後の教育にいかします。
- 生徒が、自分の学習の到達状況を正しく知ることにより、自らの学力に目標を持ち、また、その向上への意欲を高めます。
- 大阪府教育委員会が、テスト結果を使って、大阪府公立高等学校入学者選抜の調査書に記載する評定が、公平性の高いものであるかどうかを確認する資料を作成し、市町村教育委員会と学校に提供します。

実施の概要

- 実施日：令和8年1月14日（水）
- 実施校数及び実施生徒数 1年生：中学校18校（2,314人）、2年生：中学校18校（2,417人）
- 学力に関する調査 国語・社会（A、Bから選択）・数学・理科、英語
- 生徒に対するアンケート 11問

調査結果の取扱い

本結果は学力の一部であり、学校における教育活動の一側面に過ぎません。そのため、序列化や過度な競争を目的とした取扱いにつながらないよう十分配慮をお願いします。

結果については、本実施の目的を達成するため、自らの教育及び教育施策の改善、各生徒の全般的な学習状況の改善等につなげることが重要と考えます。

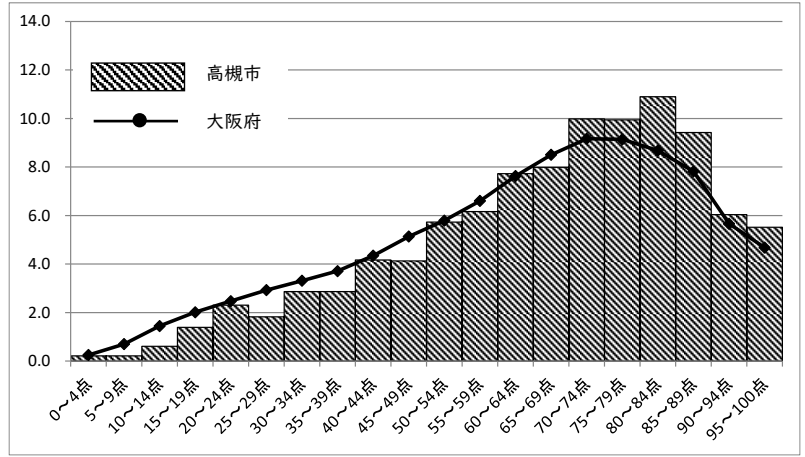
教科別・平均点比較（対大阪府）

教科	高槻市	大阪府	差（対府）
中1 国語	66.5	63.1	+3.4
中1 数学	59.2	56.7	+2.5
中1 英語	69.2	65.2	+4.0
中2 国語	66.8	64.5	+2.3
中2 社会A	44.1	44.3	-0.2
中2 数学	58.2	55.0	+3.2
中2 理科	47.9	46.7	+1.2
中2 英語	56.7	51.8	+4.9

※社会Bについては、選択している学校はありません。

R7 1年生 チャレンジテスト 分析
中学校 国語

	平均点	無解答率
高槻市	66.5	8.5
大阪府	63.1	10.2



1. 分類・区分別集計結果

分類	区分	対象設問数	配点	平均点		
				高槻市	大阪府	
全体		32	100	66.5	63.1	
学習指導要領の内容	知識及び技能	言葉の特徴や使い方に関する事項	8	18	12.8	12.4
		情報の扱い方に関する事項	6	21	13.4	12.7
		我が国の言語文化に関する事項	6	21	12.3	11.8
	思考力、判断力、表現力等	話すこと・聞くこと	4	15	9.5	8.8
		書くこと	8	27	17.4	16.3
		読むこと	10	34	22.4	21.4
評価の観点	知識・技能	20	60	38.6	36.9	
	思考・判断・表現	22	76	49.3	46.4	
	主体的に学習に取り組む態度	—	—	—	—	
問題形式	選択式	15	48	33.3	31.9	
	短答式	14	38	27.5	26.2	
	記述式	3	14	5.7	5.1	

※1つの設問が複数の区分に該当することがあるため、それぞれの分類について各区分の設問数や平均点等を合計した値が、実際の設問数や平均点等と一致しない場合がある。

2. 成果が見られた設問 [二4 (1)]

(1) 問題の概要

鳥の生態についてまとめた表の空欄に入る適切な言葉を本文中から抜き出します。

(2) 成果

文章の内容を捉え、筆者の考えを理解することができています。

3. 課題が見られた設問 [四5]

(1) 問題の概要

アドバイスを受けて、資料の一部をもとにして報告文の内容を書きかえます。

(2) 課題

資料を用いて自分の考えがわかりやすく伝えるように表現を工夫することに課題が見られます。

(3) 授業改善のポイント

自分の考えや数値等の根拠が明確になるよう構成を考えることが重要です。

普段出会う文章や資料の表現の工夫を参考に、読み取れる事実と自分の考えを結び付けて表現する場面を設定することが大切です。

設問 四5 (抜粋)

例

12.3

g

50

mg

条件1 数値を用いて具体的に書くこと。

条件2 前後の文脈に合わせて十字以上、三十字以内で書くこと。

状態が異なる大根の100gあたりの成分量

	水分	炭水化物	カルシウム	ビタミンC
単位	g	g	mg	mg
生の大根	94.6	4.1	24	12
切干大根(乾燥状態) ※1	8.4	69.7	500	28
切干大根(ゆで) ※2	94.6	4.1	60	0

※1 生の大根を切って乾燥させたもの。
※2 生の大根を切って乾燥させてから水でもどした後にゆでて水切りしたもの。

(文部科学省「日本食品標準成分表」により作成)

「書きかえた文」

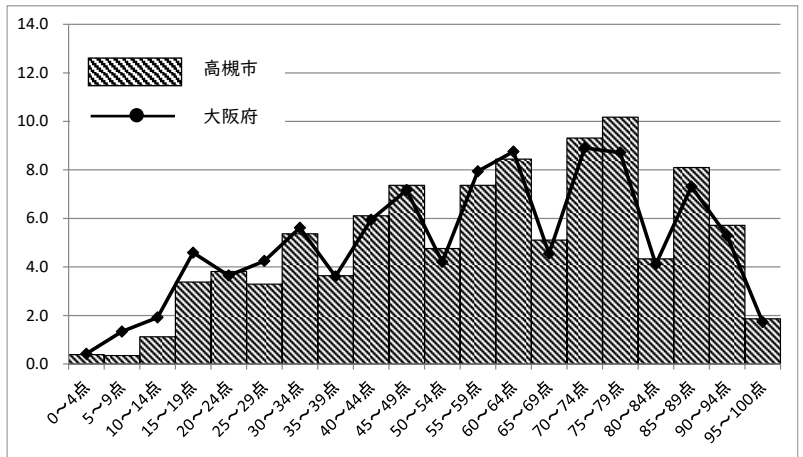
乾燥させると栄養成分が増える野菜もある。たとえば、大根は、生のものと、切って乾燥させてから水でもどした後にゆでて水切りしたものを、100gあたりの成分量で比較した場合、

「原田さんのアドバイス」

今のままでは野菜を乾燥させたときの効果が伝わりづらいので、参考にした「資料の一部」の数値を示して、大根のどの栄養成分がどれくらい増えたのかを具体的に書いたほうがよいと思うよ。

R7 1年生 チャレンジテスト 分析 中学校 数学

	平均点	無解答率
高槻市	59.2	7.6
大阪府	56.7	8.8



1. 分類・区分別集計結果

分類	区分	対象設問数	配点	平均点	
				高槻市	大阪府
全体		33	100	59.2	56.7
学習指導要領の領域	数と式	16	49	29.1	27.8
	図形	6	18	10.6	10.2
	関数	11	33	19.5	18.7
	データの活用	—	—	—	—
評価の観点	知識・技能	25	76	51.9	49.8
	思考・判断・表現	8	24	7.3	6.9
	主体的に学習に取り組む態度	—	—	—	—
問題形式	選択式	16	48	31.8	30.7
	短答式	15	46	25.9	24.5
	記述式	2	6	1.5	1.5

※1つの設問が複数の区分に該当することがあるため、それぞれの分類について各区分の設問数や平均点等を合計した値が、実際の設問数や平均点等と一致しない場合がある

2. 成果が見られた設問 [5 (3)]

(1) 問題の概要

△ABCにおいて、辺ACの垂直二等分線の作図をします。

(2) 成果

与えられた条件で、線分の垂直二等分線が作図できています。

3. 課題が見られた設問 [6 (3)]

(1) 問題の概要

移動する先の図形にぴったり重なるような対称移動・回転移動の組み合わせを選びます。

(2) 課題

具体的な図形で、対称移動、回転移動を見出すことに課題が見られます。

(3) 授業改善のポイント

図形の形や大きさ、構成要素や位置関係に着目し、作図や図形の移動を具体的に経験することが大切です。実際に紙を「折る」「回す」「写す」という手を動かし操作する活動やICTツールを活用し移動のプロセスが見えるような工夫を取り入れることも効果的です。

設問 6 (3) (抜粋)

図1

図2

(3) 図2の中で、図形Xを、次の対称移動L、点対称移動Q、回転移動Rを組み合わせて、図形Zとぴったり重なるように移動させます。あとのア～エのうち、その組み合わせとして正しいものを1つ選びなさい。

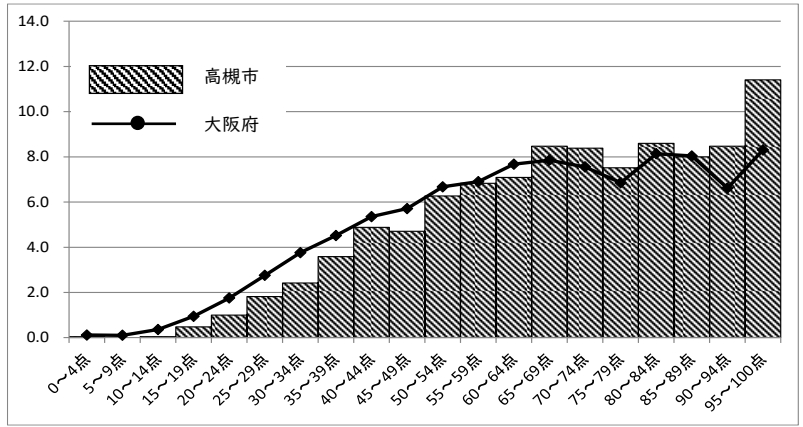
対称移動L : 直線*l*を対称の軸とした対称移動
 点対称移動Q : 点Qを中心とした点対称移動
 回転移動R : 点Rを中心として時計回りに60°だけ回転する移動

ア 対称移動Lを行い、そのあと点対称移動Qを行う。
 イ 対称移動Lを行い、そのあと回転移動Rを行う。
 ウ 点対称移動Qを行い、そのあと回転移動Rを行う。
 エ 回転移動Rを行い、そのあと対称移動Lを行う。

3

R7 1年生 チャレンジテスト 分析 中学校 英語

	平均点	無解答率
高槻市	69.2	3.9
大阪府	65.2	4.9



1. 分類・区別集計結果

分類	区分	対象設問数	配点	平均点	
				高槻市	大阪府
全体		39	100	69.2	65.2
学習指導要領の領域	聞くこと	15	32	25.6	24.6
	読むこと	15	41	27.1	25.3
	話すこと（やり取り）	-	-	-	-
	話すこと（発表）	-	-	-	-
	書くこと	9	27	16.4	15.3
評価の観点	知識・技能	20	49	34.3	32.6
	思考・判断・表現	19	51	34.9	32.6
	主体的に学習に取り組む態度	-	-	-	-
問題形式	選択式	32	80	60.0	57.1
	短答式	1	2	0.3	0.3
	記述式	6	18	8.8	7.8

※1つの設問が複数の区分に該当することがあるため、それぞれの分類について各区分の設問数や平均点等を合計した値が、実際の設問数や平均点等と一致しない場合がある。

2. 成果が見られた設問 [7 (2)]

(1) 問題の概要

指示された用件に合うように、空欄に3語の英語を入れ、英文を完成させます。

(2) 成果

文法や語彙の知識を活用し、英文を書くことができています。

3. 課題が見られた設問 [9 (5)]

(1) 問題の概要

Eメールを読み、「ジュディが、次のEメールでケンタに教えてほしいと言っていることは何ですか。」という質問に対する適切な答えとなるように、英文中の空欄にEメール中から英語4語で抜き出して書きます。

(2) 課題

日常的な話題についてのEメールのやり取りを読み、話の概要を捉えて、内容の要点を把握することに課題が見られます。

(3) 授業改善のポイント

書かれている英文の全てを読み取ろうとするのではなく、目的や状況などから判断して必要な情報を把握できるようにすることが重要です。必要な情報や概要、要点などを聞き取ったり、読み取ったり、自分自身の考えや気持ちを表現したりする言語活動を設定していくことが大切です。

設問 9 (5) (抜粋)

9 ケンタ (Kenta) と、イギリスに住んでいるジュディ (Judy) は、Eメール (e-mail) を通じて交流しています。ケンタは、お気に入りの場所を紹介するためにジュディにEメールを送りました。次のケンタとジュディの【Eメール】のやり取りを読んで、あとの問いに答えなさい。

【Eメール】

— □ ×

Thursday, November 6

*From Kenta to Judy

Hi, Judy.

What is your favorite place? My favorite place is *Osaka Castle Park. It's a big park, and a *castle is in the park. From the castle, we can see a great *view.

We can enjoy *concerts at a big *hall in Osaka Castle Park. And we can enjoy sports in the park. My friend and I sometimes (①) badminton *there.

I like Osaka Castle Park very much. I want to know your favorite place in the U.K.

Kenta

— □ ×

Saturday, November 8

From Judy to Kenta

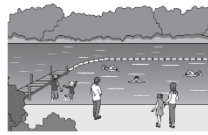
Hi, Kenta.

Osaka Castle Park is nice. I like parks, too. *Hyde Park in *London is my favorite place. It's a big park, and we can enjoy *nature there. We can see beautiful *flowers *everywhere in the park.

A lake is in Hyde Park. We can watch *many kinds of *wild birds at the lake. Look at this picture of the lake. We can enjoy swimming there. ② It's a popular place in Hyde Park.

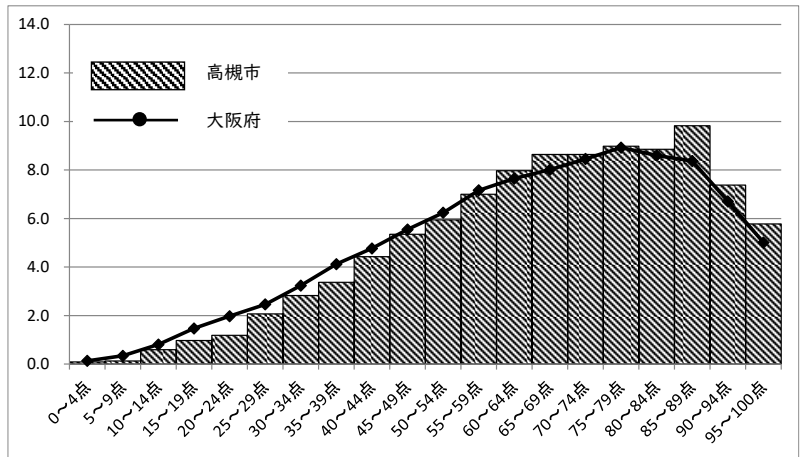
Please *tell me about famous lakes in Japan in your *next e-mail.

Judy



R7 2年生 チャレンジテスト 分析 中学校 国語

	平均点	無解答率
高槻市	66.8	6.3
大阪府	64.5	7.3



1. 分類・区分別集計結果

分類	区分	対象設問数	配点	平均点		
				高槻市	大阪府	
全体		31	100	66.8	64.5	
学習指導要領の内容	知識及び技能	言葉の特徴や使い方に関する事項	9	22	14.7	14.6
		情報の扱い方に関する事項	3	12	7.5	7.1
		我が国の言語文化に関する事項	7	23	13.0	12.4
	思考力、判断力、表現力等	話すこと・聞くこと	5	19	12.1	11.6
		書くこと	5	19	14.3	13.5
		読むこと	10	34	22.4	21.4
評価の観点	知識・技能	19	57	35.2	34.1	
	思考・判断・表現	20	72	48.7	46.5	
	主体的に学習に取り組む態度	—	—	—	—	
問題形式	選択式	14	46	30.0	29.0	
	短答式	14	40	29.0	28.2	
	記述式	3	14	7.8	7.2	

※1つの設問が複数の区分に該当することがあるため、それぞれの分類について各区分の設問数や平均点等を合計した値が、実際の設問数や平均点等と一致しない場合がある。

2. 成果が見られた設問 [三1]

(1) 問題の概要

スピーチの工夫の効果として適しているものを選択します。

(2) 成果

効果的なスピーチをするための話し方の工夫を理解できています。

3. 課題が見られた設問 [四5]

(1) 問題の概要

電子メールの下書き中の空欄に事前に確かめておきたいことを書きます。

(2) 課題

伝えたい事柄が相手に効果的に伝わるように書くことに課題が見られます。

(3) 授業改善のポイント

自分の考えが明確に伝わるように書くためには、相手や目的などに応じて表現を選択することが重要です。

自分の発信した情報が相手にどう受け止められるかを想像し書くことを意識して、言語活動を充実させることが大切です。

設問 四5 (抜粋)

【確認事項】

- ・ 事前打ち合わせの所要時間
- ・ 事前打ち合わせの際に必要な準備物

【電子メールの下書き】

宛先: takesatokouminkan@〇〇〇.〇〇.jp

件名: 竹里中学校吹奏楽部・ダンス部合同発表会の事前打ち合わせについて

竹里公民館
田原 ひろみ 様

こんにちは。竹里中学校吹奏楽部の砂山とダンス部の谷口です。

先日ご依頼いただいた事前打ち合わせにつきまして、田原様からご提案いただいた日時のうち、10月29日(水)の16時でお願いしたいと思います。当日は、顧問2名と私たち2名の計4名でうかがいたいと考えております。

なお、事前打ち合わせに関しまして、

よろしく願っています。

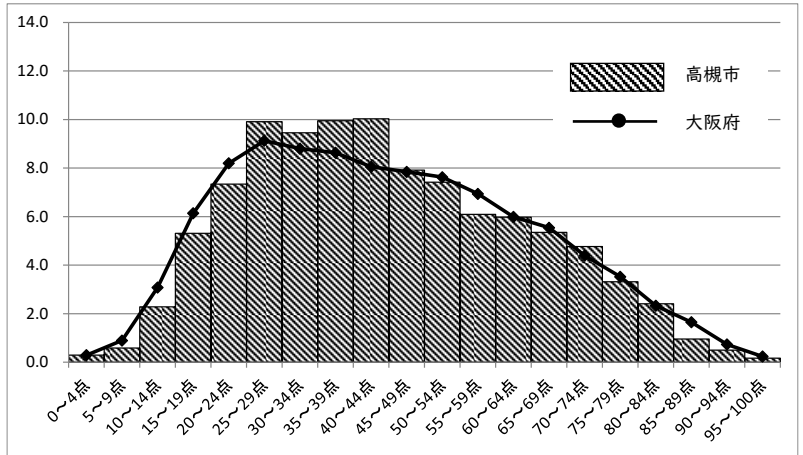
.....

竹里中学校
吹奏楽部 砂山 純
ダンス部 谷口 ひかる
takesatochu@〇〇〇.〇〇.jp

問い 砂山さんは、「電子メールの下書き」中の「C」の部分に、確かめておきたいこととして、次の「確認事項」について書くこととしています。あなたが砂山さんなら、どのように書きますか。書き出しの「なお、事前打ち合わせに関しまして」に続けて、二十五字以上、六十字以内で書きなさい。

R7 2年生 チャレンジテスト 分析
中学校 社会

	平均点	無解答率
高槻市	44.1	6.4
大阪府	44.3	6.3



1. 分類・区分別集計結果

分類	区分	対象設問数	配点	平均点	
				高槻市	大阪府
全体		36	100	44.1	44.3
学習指導要領の領域	地理的分野	20	55	24.0	23.6
	歴史的分野	16	45	20.2	20.7
評価の観点	知識・技能	29	77	36.6	36.8
	思考・判断・表現	7	23	7.5	7.5
	主体的に学習に取り組む態度	-	-	-	-
問題形式	選択式	29	78	34.5	34.6
	短答式	5	14	6.9	7.0
	記述式	2	8	2.7	2.6

※1つの設問が複数の区分に該当することがあるため、それぞれの分類について各区分の設問数や平均点等を合計した値が、実際の設問数や平均点等と一致しない場合がある。

2. 成果が見られた設問 [4 (1)]

(1) 問題の概要

北陸新幹線の路線が通る中部地方の県庁所在地を選びます。

(2) 成果

北陸新幹線の路線が通る県庁所在地の場所について理解しています。

3. 課題が見られた設問 [3 (2) ②]

(1) 問題の概要

江戸幕府による鎖国に関するできごとについて、起こった順に並べたものを選びます。

(2) 課題

江戸幕府による鎖国に関するできごとの推移を考察することに課題が見られます。

(3) 授業改善のポイント

歴史に関わる事象について、出来事の本質を理解するためには、歴史の大きな流れを、世界の歴史を背景に、各時代の特色を踏まえて指導することが重要です。

また、事象の意義などを、課題を設けて考察したりする活動を通じて、各時代の特色や時代の転換に関する基礎的・基本的な知識を着実に定着できるよう指導することが大切です。

設問 3 (2) ② (抜粋)

(2) かなさんは、江戸時代に長崎で行われた貿易について調べました。【メモ1】は、かなさんが調べたことをまとめたものです。あとの問いに答えなさい。

【メモ1】

- 江戸時代初めには、幕府の許可を受けた大名や豪商（大商人）の貿易船により、長崎や他の港から、多くの日本人が東南アジア各地に渡った。
- 1610年ごろから、幕府により、外国との貿易が規制されていった。
- 1641年には、平戸にあった、オランダ商館が、長崎港に移された。これ以降、オランダと（㉔）の2か国は長崎でのみ貿易を行うことが許可された。
- 1770年ごろには、長崎での貿易による利益を増やすために、（㉕）が俵物や銅の輸出を盛んにした。

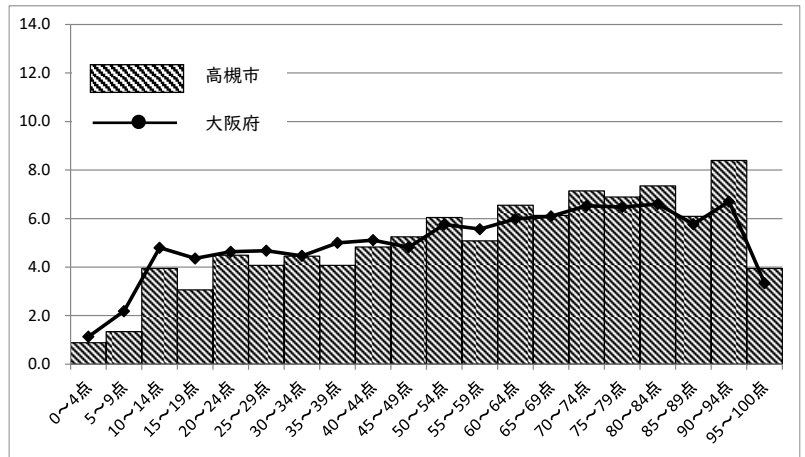
② 次のX～Zは、【メモ1】中の下線部㉔に関するできごとについて述べた文です。X～Zをできごとが起こった順に並べかえると、どのような順序になりますか。あとのア～カから正しいものを1つ選びなさい。

- X 領主による厳しい弾圧に対抗して、島原・天草一揆が起こった。
- Y 幕府により、ポルトガル船の日本への来航が禁止された。
- Z 幕府により、日本人の海外渡航が禁止された。

- ア X → Y → Z
- イ X → Z → Y
- ウ Y → X → Z
- エ Y → Z → X
- オ Z → X → Y
- カ Z → Y → X

R7 2年生 チャレンジテスト 分析 中学校 数学

	平均点	無解答率
高槻市	58.2	11.0
大阪府	55.0	11.7



1. 分類・区別集計結果

	区分	対象設問数	配点	平均点	
				高槻市	大阪府
全体		29	100	58.2	55.0
学習指導要領の領域	数と式	11	39	23.4	22.2
	図形	8	28	16.8	16.2
	関数	10	33	18.0	16.6
	データの活用	—	—	—	—
評価の観点	知識・技能	17	60	37.2	35.2
	思考・判断・表現	12	40	21.0	19.8
	主体的に学習に取り組む態度	—	—	—	—
問題形式	選択式	12	41	27.0	25.6
	短答式	15	53	29.5	27.8
	記述式	2	6	1.7	1.6

※1つの設問が複数の区分に該当することがあるため、それぞれの分類について各区分の設問数や平均点等を合計した値が、実際の設問数や平均点等と一致しない場合がある。

2. 成果が見られた設問 [4 (4)]

(1) 問題の概要

一次関数の式やグラフから、 x の変域に対応する y の変域を求めます。

(2) 成果

一次関数の式やグラフの意味を理解し、 x の変域に対応する y の変域を求めることができています。

3. 課題が見られた設問 [5 (2)]

(1) 問題の概要

4つの数 a 、 b 、 c 、 d の和が4の倍数になることの説明を完成させます。

(2) 課題

事柄が成り立つ理由を文字式を用いて説明することに課題が見られます。

(3) 授業改善のポイント

数量の関係や法則などを「文字を用いた式」に表し、具体的に活用する学習場面を設定することが重要です。

授業の中で、様々な事象における数量の関係を発見し、見つけた数量の関係について文字を用いて式に表現したり、式の意味を読み取ったりする活動を計画的に取り入れることが大切です。

設問 5 (2) (抜粋)

⑤ 図1は、みきさんのクラスの座席を1～36の整数で表したものです。みきさんは、図1において、図2のように配置された4つの数を、小さい順に a 、 b 、 c 、 d とし、この4つの数の和について考えることにしました。

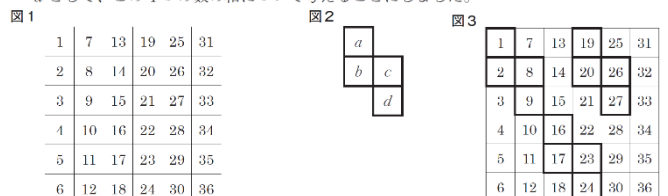


図3は、図1において、 $a=1$ 、 $b=2$ 、 $c=8$ 、 $d=9$ とした例、 $a=16$ 、 $b=17$ 、 $c=23$ 、 $d=24$ とした例、 $a=19$ 、 $b=20$ 、 $c=26$ 、 $d=27$ とした例をそれぞれ示したものです。

みきさんは、これらの例で4つの数の和 $a+b+c+d$ がどんな数になるかを調べました。 $a=1$ 、 $b=2$ 、 $c=8$ 、 $d=9$ のとき $1+2+8+9=20=5 \times 4$

$a=16$ 、 $b=17$ 、 $c=23$ 、 $d=24$ のとき $16+17+23+24=80=20 \times 4$

$a=19$ 、 $b=20$ 、 $c=26$ 、 $d=27$ のとき $19+20+26+27=92=23 \times 4$

予想

図1において、4つの数の和 $a+b+c+d$ は、4の倍数になる。

(2) みきさんは、予想がいつでも成り立つことを、次のように説明しました。説明中の①()～③()をすべてうめて、説明を完成しなさい。

説明

$a=n$ (n は自然数) とすると、 $b=n+1$ 、 $c=n+7$ 、 $d=n+8$ と表すことができる。

よって、その和は

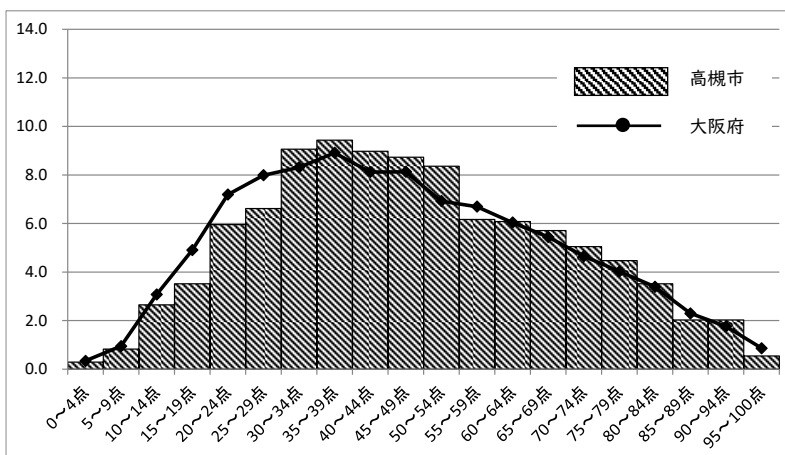
$$a+b+c+d \text{ ① } = \left[\begin{array}{l} \\ \\ \\ \end{array} \right]$$

②()は整数だから、③()は4の倍数である。

したがって、4つの数の和 $a+b+c+d$ は、4の倍数である。

R7 2年生 チャレンジテスト 分析 中学校 理科

	平均点	無解答率
高槻市	47.9	4.2
大阪府	46.7	5.0



1. 分類・区分別集計結果

分類	区分	対象設問数	配点	平均点	
				高槻市	大阪府
全体		30	100	47.9	46.7
学習指導要領の領域	「エネルギー」	-	-	-	-
	「粒子」	12	40	18.3	18.1
	「生命」	12	40	20.6	19.7
	「地球」	6	20	9.1	8.9
評価の観点	知識・技能	19	58	30.0	29.4
	思考・判断・表現	11	42	17.9	17.3
	主体的に学習に取り組む態度	-	-	-	-
問題形式	選択式	22	74	34.1	33.6
	短答式	6	18	10.9	10.3
	記述式	2	8	3.0	2.7

※1つの設問が複数の区分に該当することがあるため、それぞれの分類について各区分の設問数や平均点等を合計した値が、実際の設問数や平均点等と一致しない場合がある。

2. 成果が見られた設問 [1 (2) ①]

(1) 問題の概要

血液の各成分のはたらきから、それぞれの名前の組み合わせを選びます。

(2) 成果

血液の固形成分（血球）のはたらきについて理解しています。

3. 課題が見られた設問 [2 (2) ②]

(1) 問題の概要

実験で調べたことやわかったことをまとめた文章中の空欄に入る言葉を選びます。

(2) 課題

塩化コバルト紙やフェノールフタレイン溶液の理解に課題が見られます。

(3) 授業改善のポイント

実験で使用する試験紙や指示薬について、それぞれ何を調べるものか理解して使用することが重要です。

実験においては、操作手順に従って行うだけではなく、発生する物質を化学式から予測したり、それらを確認するためにはどの方法が妥当かを検討したりするなど、解決する方法を立案し、実験に取り組むことが大切です。

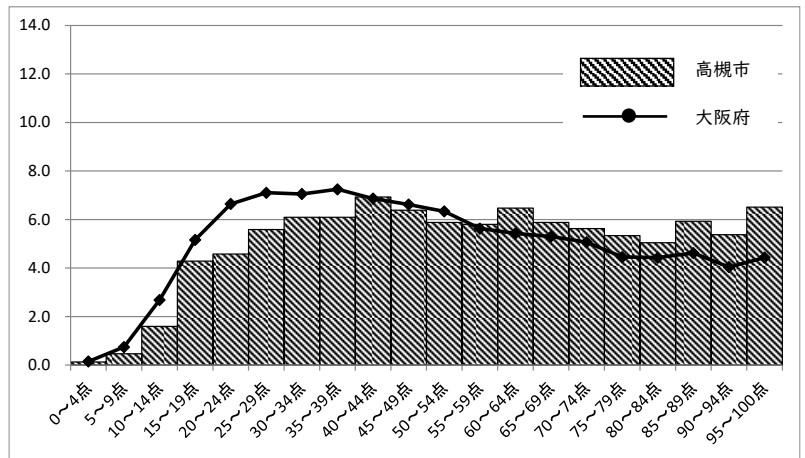
設問 2 (2) ② (抜粋)

② 次の文章は、さつきさんが<実験>で調べたことやわかったことをまとめたものの一部です。文章中の④〔 〕、⑥〔 〕から適しているものをそれぞれ1つずつ選びなさい。

- ・ 方法 5において、試験管Pの口の部分に生じた液体に、④〔ア 青色リトマス紙 イ 塩化コバルト紙〕をつけると、青色から赤色に変化したため、試験管Pの口の部分に生じた液体は水であることがわかった。
- ・ 方法 6において、「残った固体」と炭酸水素ナトリウムをそれぞれ別々の試験管に0.5g入れ、5mLの水を加えて水へのとけ方を比べると、「残った固体」の方が水にとけやすいことがわかった。また、それぞれの試験管に、⑥〔ウ BTB エ フェノールフタレイン〕溶液を2滴加えて軽く振ると、いずれも赤色になったため、どちらの水溶液もアルカリ性であることがわかった。「残った固体」の水溶液の方が濃い赤色になった。

R7 2年生 チャレンジテスト 分析 中学校 英語

	平均点	無解答率
高槻市	56.7	6.1
大阪府	51.8	7.6



1. 分類・区分別集計結果

分類	区分	対象設問数	配点	平均点	
				高槻市	大阪府
全体		37	100	56.7	51.8
学習指導要領の領域	聞くこと	12	28	19.6	18.4
	読むこと	10	28	14.5	13.4
	話すこと（やり取り）	-	-	-	-
	話すこと（発表）	-	-	-	-
	書くこと	15	44	22.6	20.0
評価の観点	知識・技能	20	53	31.3	28.5
	思考・判断・表現	17	47	25.5	23.3
	主体的に学習に取り組む態度	-	-	-	-
問題形式	選択式	27	70	45.1	42.2
	短答式	3	9	3.6	3.1
	記述式	7	21	8.1	6.5

※1つの設問が複数の区分に該当することがあるため、それぞれの分類について各区分の設問数や平均点等を合計した値が、実際の設問数や平均点等と一致しない場合がある。

2. 成果が見られた設問 [7 (2)]

(1) 問題の概要

会話文を読み、空欄に英語3語を入れ、英文を完成させます。

(2) 成果

会話文を読み、やり取りの場面を理解したうえで、文法や語彙の知識を活用し、会話の流れに合う英文を書くことができます。

3. 課題が見られた設問 [3 (1)]

(1) 問題の概要

時刻表と質問を読み、会話を聞いて、英文中の空欄に入る適切な時刻を選びます。

(2) 課題

日常的な話題について、表や質問を読んだうえで、それについてのやり取りを聞き、話の概要を正確に把握することに課題が見られます。

(3) 授業改善のポイント

全ての英文を聞き取ろうとするのではなく、目的や状況に応じて、必要な情報を把握できるようにすることが重要です。

聞いて理解した情報を第三者に分かりやすく説明したり説明した内容を書いてまとめたりするなどの言語活動を意識的に取り入れることが大切です。

設問 3 (1) (抜粋)

【リスニング問題】

- ③ ミドリ駅 (Midori Station) にあるバスの停留所で、ミカ (Mika) とトム (Tom) が、バスの時刻表 (bus timetable) を見ながら話をしています。時間を30秒^{ほど}写えますので、【バスの時刻表】と【質問】を読みなさい。そのあとミカとトムの会話が放送されます。会話と【バスの時刻表】の内容を参考に、あとの【質問】に答えなさい。では【バスの時刻表】と【質問】を読みなさい。

【バスの時刻表】

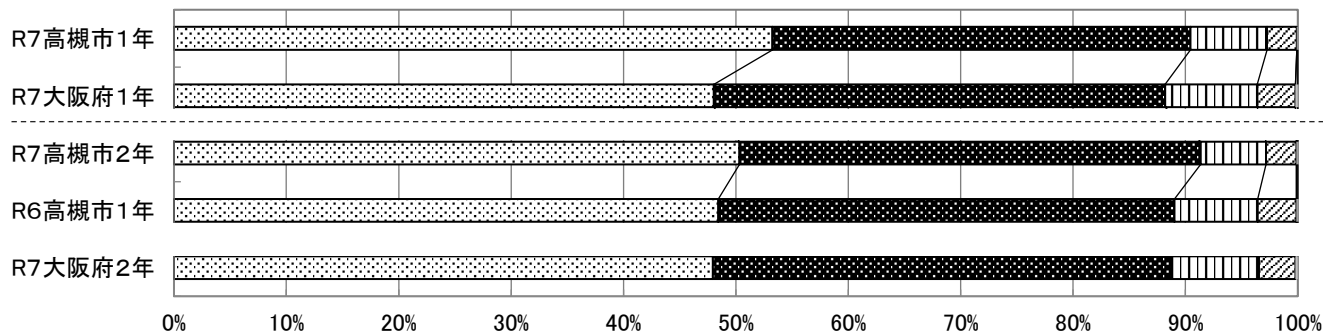
Midori Station			
Bus Timetable			
*To City Station			
*from Monday to Friday		Saturday, Sunday, and *holidays	
6:00	6:30	6:15	
7:00	7:30	7:15	
8:00	8:30	8:15	8:45
9:00	9:30	9:15	9:45
10:00	10:30	10:15	10:45
11:00	11:30	11:15	11:45

(注) to ~ ~行き from ~ to ... ~から...まで holiday 祝日

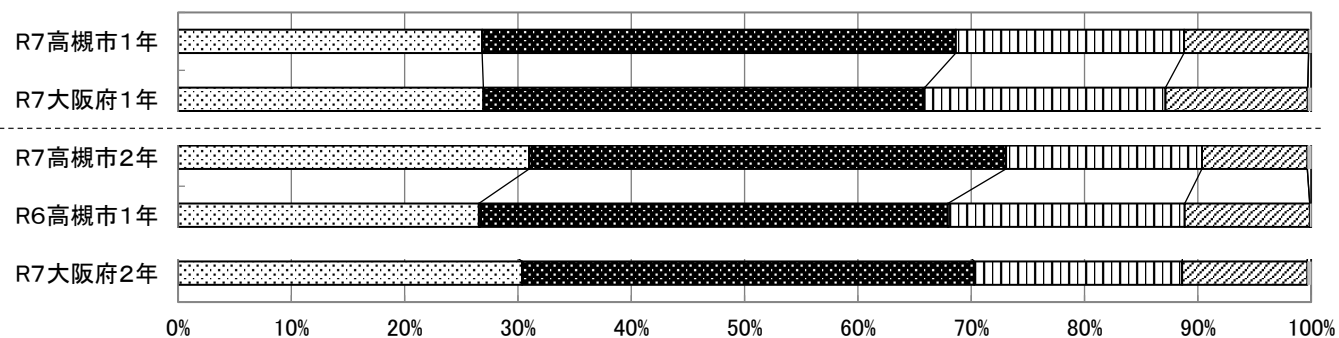
令和7年度中学生チャレンジテスト（1・2年生） 生徒に対するアンケートの結果

凡例： 1. 当てはまる 2. どちらかといえば、当てはまる 3. どちらかといえば、当てはまらない 4. 当てはまらない 5. その他 6. 無回答

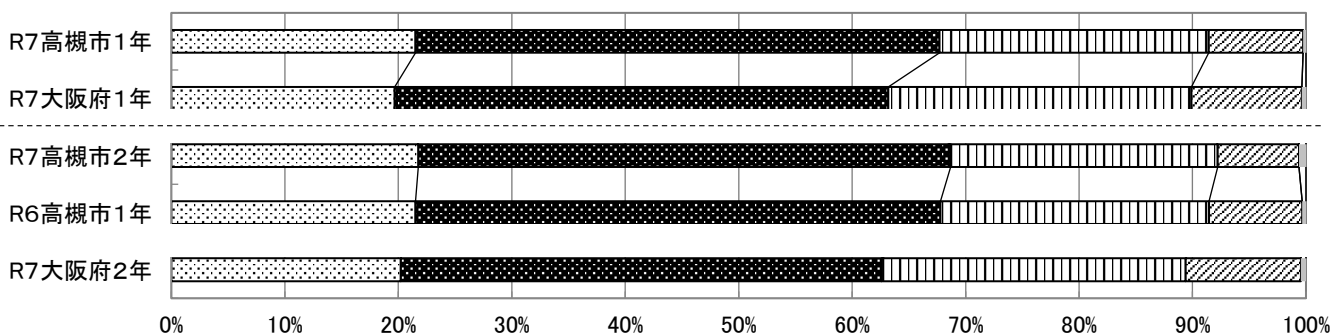
1. 文章や資料などを読むときに、どこが大事なところかを考えながら読んでいる。



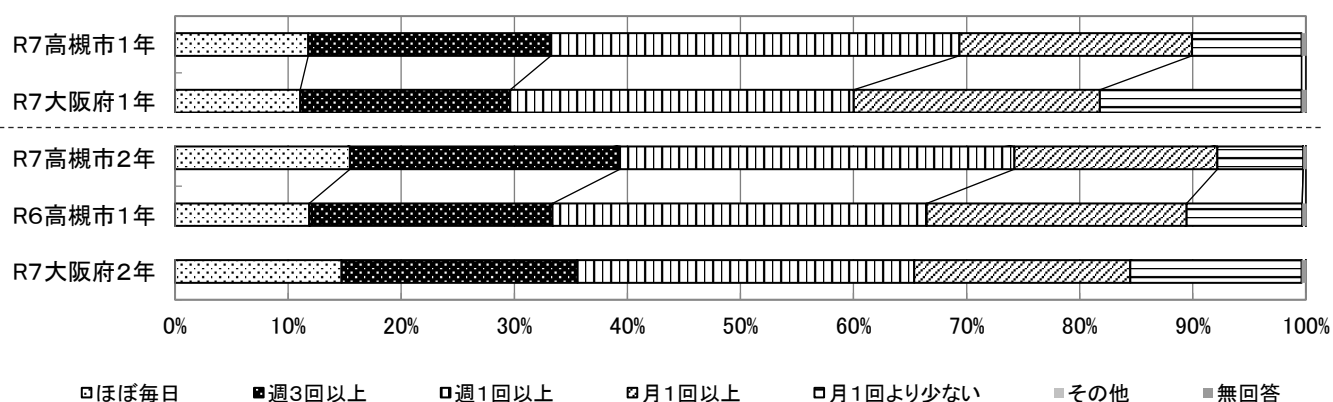
2. わからないことや知りたいことがあったとき、図書館資料やインターネットなどで調べている。



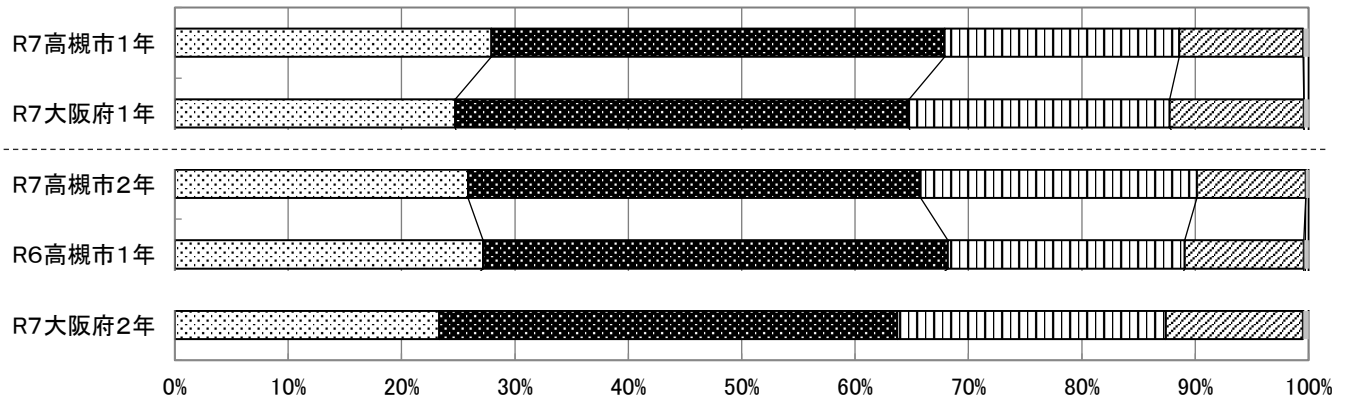
3. 授業中、思考ツールを使うなどして、自分の考えを整理したりまとめたりする場面がある。



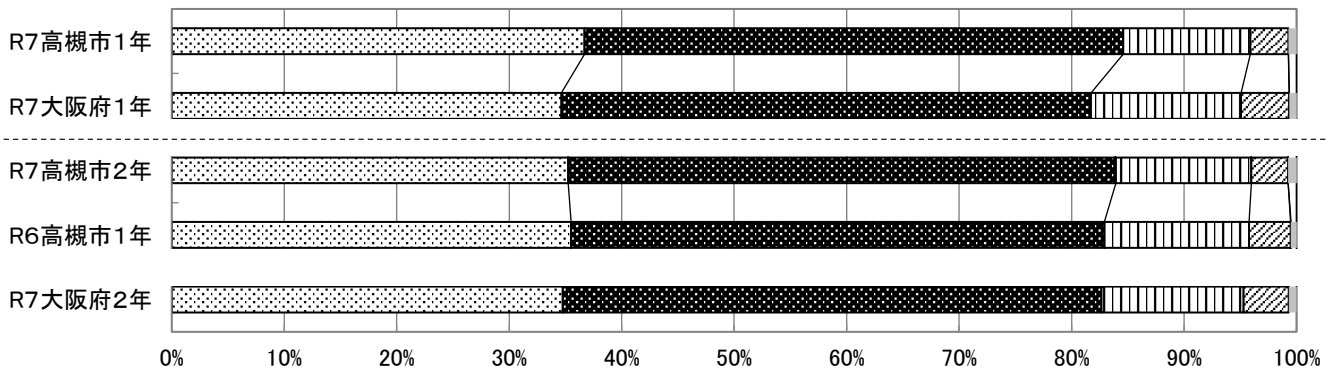
4. 授業中、PC・タブレットを使って、学級の友だちと意見を交換する場面はどれくらいありますか。



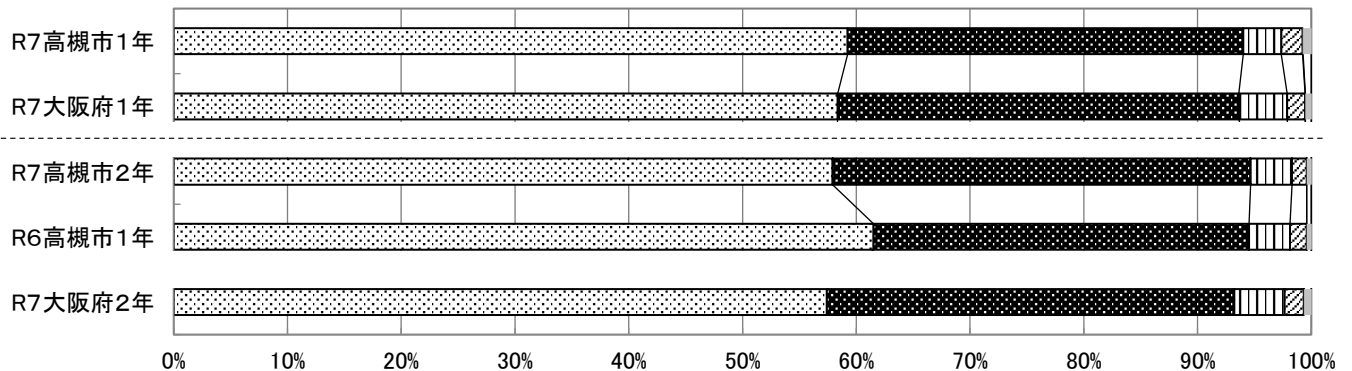
5. 家で、自分の苦手なところ、必要なところを考えて勉強している。



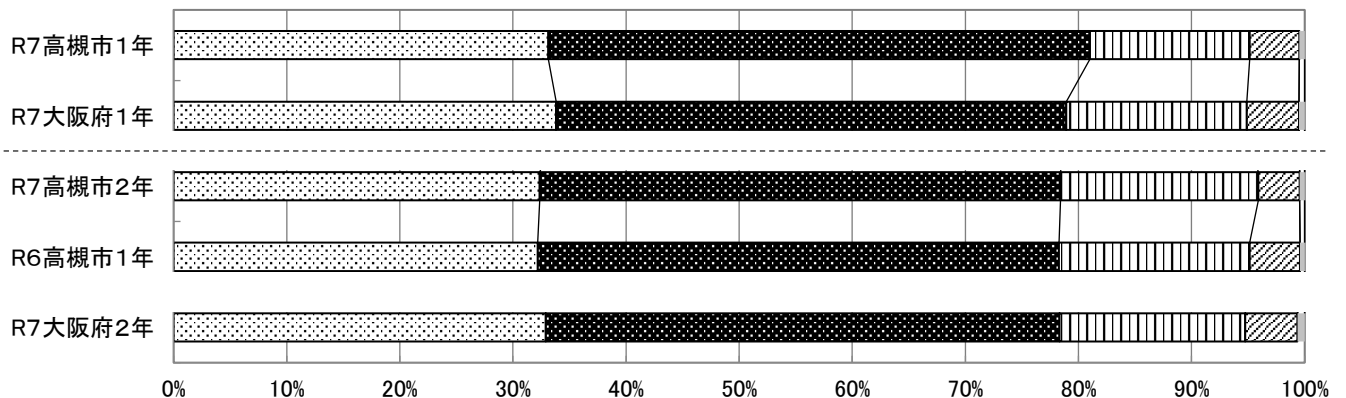
6. あなたの学級は、違った考えや意見を受け入れる雰囲気がある。



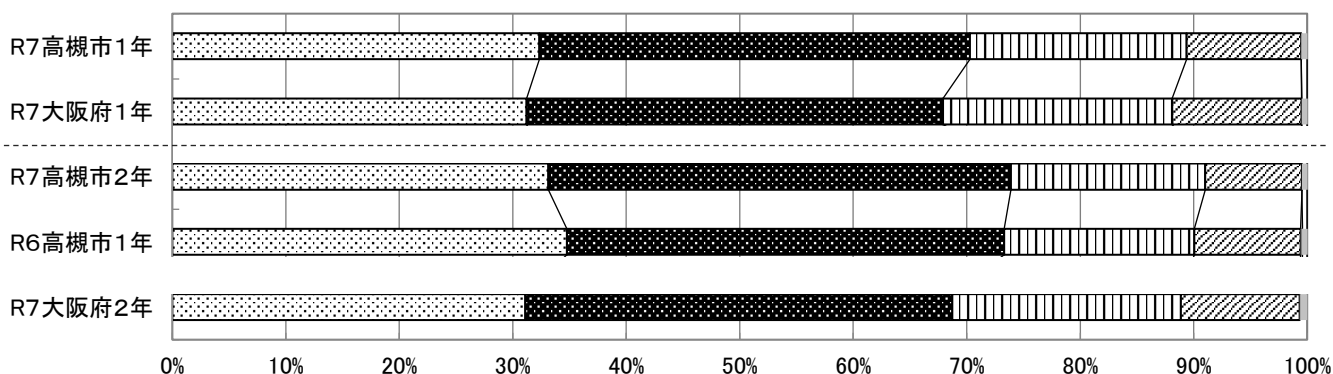
7. 学校などで、他の人と協力し合うことができる。



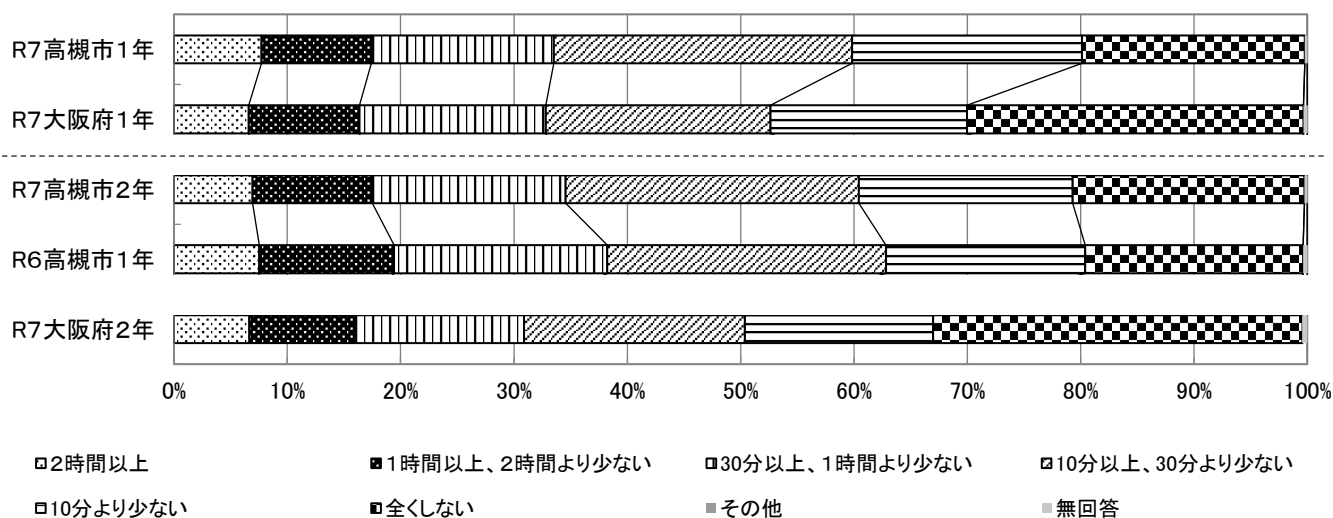
8. 難しいことがあっても、あきらめない。



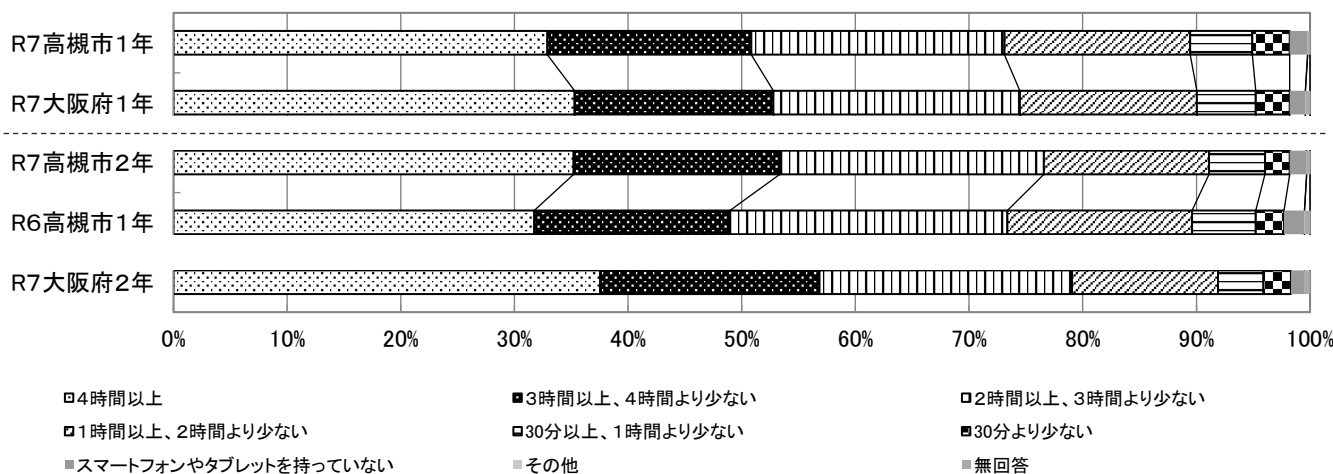
9. テレビや新聞、インターネットで社会的な出来事に関するニュースを見ている。



10. 普段（月曜日から日曜日）、1日平均どれくらいの時間、本（教科書は除く）を読みますか。



11. 普段（月曜日から日曜日）、1日平均どれくらいの時間、学習以外（ゲームやSNSなど）にスマートフォンやタブレットを使っていますか。



【生徒に対するアンケートの結果について】

全ての設問で、肯定的回答の割合が大阪府を上回っている（設問11については使用時間が下回っている）点は、一定の成果と言えます。

しかしながら、中学2年生において、令和6年度との経年比較で見ますと、「5. 家で、自分の苦手なところ、必要なところを考えて勉強している。」や「10. 普段（月曜日から日曜日）、1日平均どれくらいの時間、本（教科書を除く）を読みますか。」の設問において肯定的回答が減少傾向にあり、反対に、スマートフォンやタブレットの使用時間は、増加傾向にあります。

生徒の豊かな読書習慣につながる取組の推進に加え、学習の成果をより確かなものにするために、授業での学習の振り返りを家庭学習に活かせるよう取り組むなど生徒の主体的な学習につなげる工夫が必要です。